

平成30年度労働事情実態調査結果のポイント

調査の概要

- ・調査時点：平成30年7月1日
- ・調査対象：県内中小企業1,300社
- ・回収状況：520社（製造業278社、非製造業242社）
- ・回収率：40.0%

◇経営状況

「良い」21.3%（前年17.3%）、「悪い」25.4%（前年24.2%）

◇主要事業の今後の方針

「現状維持」56.3%、「強化拡大」38.6%

◇経営上の障害

「人材不足（質の不足）」54.8%、「労働力不足（量の不足）」37.8%、
「原材料・仕入品の高騰」29.7%、「販売不振・受注の減少」28.2%

◇経営上の強み

「技術力・製品開発力」31.0%、「製品・サービスの独自性」29.2%、
「製品の品質・精度の高さ」28.4%

◇週所定労働時間

「週40時間」以下の事業所は91.2%（前年91.4%）

◇月平均残業時間（従業員1人当たり）

「10～20時間未満」が25.0%で最も多く、次いで「10時間未満」が22.0%、
「0時間」が20.8%

◇年次有給休暇（従業員1人当たり）

平均付与日数16.00日、平均取得日数は7.88日で、取得率は49.25%

◇平成30年3月新規学卒者採用状況

技術系全体：採用計画273人に対し、214人採用（充足率78.4%）

事務系全体：採用計画83人に対し、62人採用（充足率74.7%）

◇新規学卒者の平均初任給（平成30年6月の通勤手当を除く所定内給与）

高 校 卒：技術系	1 6 9, 1 7 2 円	（対前年比	+ 6, 3 9 8 円）
事務系	1 6 0, 7 1 2 円	（対前年比	- 1, 0 4 8 円）
専門学校卒：技術系	1 7 8, 0 8 9 円	（対前年比	- 8, 0 5 5 円）
事務系	1 8 1, 0 0 0 円	（対前年比	+ 1, 0 0 0 円）
短大卒(含高専)：技術系	1 7 1, 5 5 0 円	（対前年比	- 2, 1 3 6 円）
事務系	1 9 3, 7 0 0 円	（対前年比	+ 1, 7 0 0 円）
大 学 卒：技術系	2 0 4, 0 8 0 円	（対前年比	- 2, 7 9 8 円）
事務系	2 0 0, 2 5 2 円	（対前年比	+ 6, 0 8 1 円）

◇平成31年3月新規学卒者採用計画

採用計画が「ある」とする事業所は33.5%

学卒別平均採用計画：「高 校 卒」67.4%、2.40人

「専門学校卒」33.1%、1.81人

「短大卒(含高専)」12.2%、1.43人

「大 学 卒」53.5%、2.51人

◇長時間労働への対応

「人員の増員・配置見直し」38.3%、「時間外労働の是正・削減」35.1%、
「業務内容見直し・業務分担見直し」33.3%

◇同一賃金同一労働への対応

「賞与の支給」28.7%、「定期昇給の実施」23.8%、
「手当の支給」22.6%

◇無期転換ルールの認知状況

「知っていた」70.6%、「知らなかった」29.4%

◇無期転換ルール対象従業員の有無

「いる」20.4%、「いない」79.6%

◇無期転換ルールに基づく無期転換の申込みの有無

「あった」14.7%、「現時点ではない」85.3%

◇賃金改定状況

平成30年1月1日から7月1日までの間に賃金を「上げた」のは54.9%、「未定」が17.5%、「今年は実施しない（凍結）」が14.4%

改定後平均賃金 260,534円（加重平均）（前年259,559円）

平均改定額 6,106円（前年5,492円）

平均改定率 2.40%（前年2.16%）

賃金改定の内容は、「定期昇給」61.1%、「基本給の引上げ（定期昇給制度のない事業所）」34.3%、「ベースアップ」16.5%

賃金改定の決定要素は、「企業の業績」70.3%、「労働力の確保・定着」56.6%、「世間相場」26.3%